

### 【正誤表】

令和5年～令和7年佐久市環境白書において、一部誤りがありましたので、以下のとおり訂正してお詫びいたします。

該当年度	令和5年				
ページ	15 ページ				
項目	基本目標 3 低炭素社会の実現				
誤	達成目標の状況				
	指標	H28年度	現状値 R4年度	目標値 R9年度	達成状況
	佐久市内から排出される温室効果ガス総排出量	664千t-CO2 (H25年度 <sup>※1</sup> )	545千t-CO2 (R2年度)	526千t-CO2	-
	最新の総排出量は、令和2年度の数値です。総排出量は減少傾向にあります。				
	市の事務事業から排出される温室効果ガス総排出量 <sup>※2</sup>	23,786t-CO2 (H25年度 <sup>※1</sup> )	19,219t-CO2	16,650t-CO2	-
	現状に対して、温室効果ガスの排出削減が約19%程度進んでいます。				
	市内の自然エネルギーを用いた電力自給率	13.78%	24.5% (参考 R2)	23%	達成
電力自給率については、令和2年度に目標値を達成しています。(24.5%) 令和3年度以降は、算定に用いる市内の総電力消費量の最新の数値を把握できないことから、算定していません。					
※1 現状値が平成25年度になっている指標は、基準年度を国の施策に合わせて設定 ※2 佐久市地球温暖化対策実行計画事務事業編の改訂に合わせて、適宜数値を見直します					
正	達成目標の状況				
	指標	H28年度	現状値 R4年度	目標値 R9年度	達成状況
	佐久市内から排出される温室効果ガス総排出量	664千t-CO2 (H25年度 <sup>※1</sup> )	541千t-CO2 (R2年度)	526千t-CO2	-
	最新の総排出量は、令和2年度の数値です。総排出量は減少傾向にあります。				
	市の事務事業から排出される温室効果ガス総排出量 <sup>※2</sup>	23,786t-CO2 (H25年度 <sup>※1</sup> )	19,219t-CO2	16,650t-CO2	-
	現状に対して、温室効果ガスの排出削減が約19%程度進んでいます。				
	市内の自然エネルギーを用いた電力自給率	13.78%	24.5% (参考 R2)	23%	達成
電力自給率については、令和2年度に目標値を達成しています。(24.5%) 令和3年度以降は、算定に用いる市内の総電力消費量の最新の数値を把握できないことから、算定していません。					
※1 現状値が平成25年度になっている指標は、基準年度を国の施策に合わせて設定 ※2 佐久市地球温暖化対策実行計画事務事業編の改訂に合わせて、適宜数値を見直します					

該当年度	令和6年				
ページ	15 ページ				
項目	基本目標3 低炭素社会の実現				
誤	達成目標の状況				
	指標	現状値 R3年度	現状値 R5年度	目標値*1 R9年度	達成状況
	佐久市内から排出される二酸化炭素総排出量※2	567千t-CO2 (R元年度)	589千t-CO2 (R3年度)	382千t-CO2	-
	最新の総排出量は、令和3年度の数値です。				
	市の事務事業から排出される温室効果ガス総排出量(二酸化炭素以外の温室効果ガスを含む)※3	18,550t-CO2	17,887t-CO2	13,216t-CO2	-
	現状に対して、温室効果ガスの排出削減が約3.6%程度進んでいます。				
	太陽光発電設備の設置容量(累積)	132,924kW	138,662kW	175,000kW	-
電力自給率について、令和2年度に目標値を達成したため、太陽光発電設備の設置容量(累積)に目標を変更しました。					
※1 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを見据えた目標値に見直し					
※2 市域からの排出量算定のための基礎資料である「都道府県別エネルギー消費統計調査」において、過去に遡及したデータ修正が行われたため、前計画の数値とは一致しません。					
※3 事務事業から排出される温室効果ガスの総排出量は、二酸化炭素の排出量と、メタン、一酸化炭素、ハイドロフルオロカーボン類の排出量を二酸化炭素の排出量に換算した数値の合計					
正	達成目標の状況				
	指標	現状値 R3年度	現状値 R5年度	目標値*1 R9年度	達成状況
	佐久市内から排出される二酸化炭素総排出量※2	567千t-CO2 (R元年度)	583千t-CO2 (R3年度)	382千t-CO2	-
	最新の総排出量は、令和3年度の数値です。				
	市の事務事業から排出される温室効果ガス総排出量(二酸化炭素以外の温室効果ガスを含む)※3	18,550t-CO2	17,887t-CO2	13,216t-CO2	-
	現状に対して、温室効果ガスの排出削減が約3.6%程度進んでいます。				
	太陽光発電設備の設置容量(累積)	132,924kW	138,662kW	175,000kW	-
電力自給率について、令和2年度に目標値を達成したため、太陽光発電設備の設置容量(累積)に目標を変更しました。					
※1 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを見据えた目標値に見直し					
※2 市域からの排出量算定のための基礎資料である「都道府県別エネルギー消費統計調査」において、過去に遡及したデータ修正が行われたため、前計画の数値とは一致しません。					
※3 事務事業から排出される温室効果ガスの総排出量は、二酸化炭素の排出量と、メタン、一酸化炭素、ハイドロフルオロカーボン類の排出量を二酸化炭素の排出量に換算した数値の合計					

該当年度	令和7年				
ページ	15 ページ				
項目	基本目標3 低炭素社会の実現				
誤	達成目標の状況				
	指標	計画改訂時 実績値 R3年度	現状値 R6年度	目標値 <sup>※1</sup> R9年度	達成状況
	佐久市内から排出される二酸化炭素総排出量 <sup>※2</sup>	567千t-CO2 (R元年度)	588千t-CO2 (R4年度)	382千t-CO2	-
	最新の総排出量は、令和4年度の数値です。				
	市の事務事業から排出される温室効果ガス総排出量(二酸化炭素以外の温室効果ガスを含む) <sup>※3</sup>	18,550t-CO2	16,891t-CO2	13,216t-CO2	-
	総排出量は減少傾向にあるものの、目標数値の達成は依然として困難な状況にあります。				
	太陽光発電設備の設置容量(累積)	132,924kW	142,243kW	175,000kW	-
電力自給率について、令和2年度に目標値を達成したため、太陽光発電設備の設置容量(累積)に目標を変更しました。					
<sup>※1</sup> 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを見据えた目標値に見直し <sup>※2</sup> 市域からの排出量算定のための基礎資料である「都道府県別エネルギー消費統計調査」において、過去に遡及したデータ修正が行われたため、前計画の数値とは一致しません。 <sup>※3</sup> 事務事業から排出される温室効果ガスの総排出量は、二酸化炭素の排出量と、メタン、一酸化炭素、ハイドロフルオロカーボン類の排出量を二酸化炭素の排出量に換算した数値の合計					
正	達成目標の状況				
	指標	計画改訂時 実績値 R3年度	現状値 R6年度	目標値 <sup>※1</sup> R9年度	達成状況
	佐久市内から排出される二酸化炭素総排出量 <sup>※2</sup>	567千t-CO2 (R元年度)	561千t-CO2 (R4年度)	382千t-CO2	-
	最新の総排出量は、令和4年度の数値です。				
	市の事務事業から排出される温室効果ガス総排出量(二酸化炭素以外の温室効果ガスを含む) <sup>※3</sup>	18,550t-CO2	16,891t-CO2	13,216t-CO2	-
	総排出量は減少傾向にあるものの、目標数値の達成は依然として困難な状況にあります。				
	太陽光発電設備の設置容量(累積)	132,924kW	142,243kW	175,000kW	-
電力自給率について、令和2年度に目標値を達成したため、太陽光発電設備の設置容量(累積)に目標を変更しました。					
<sup>※1</sup> 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを見据えた目標値に見直し <sup>※2</sup> 市域からの排出量算定のための基礎資料である「都道府県別エネルギー消費統計調査」において、過去に遡及したデータ修正が行われたため、前計画の数値とは一致しません。 <sup>※3</sup> 事務事業から排出される温室効果ガスの総排出量は、二酸化炭素の排出量と、メタン、一酸化炭素、ハイドロフルオロカーボン類の排出量を二酸化炭素の排出量に換算した数値の合計					